

キュウ単独公演
東京・大阪・名古屋
初の3都市開催記念

劇画タッチな漢
キュウ清水
初秋カレンダー

Sep 2023

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
				東京公演		
10	11	12	13	14	15	16
	Rhea			大阪公演	名古屋公演	
17	18	19	20	21	22	23
			東京公演		Pandora	
24	25	26	27	28	29	30

Oct 2023

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
				TITAN LIVE		
15	16	17	18	19	20	21
				Pandora		
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

夏休み
園工
企画

「ウエストランドのぶちラジ!!」
ペーパー「アクスタ」

作って・撮って・ツイートして
抽選で30名様に「ぶちラジの何か」をプレゼント!

どうしても「アクリルスタンド」が作りたい...という「ぶちラジ」監査役(バシコバ)の夢を、本紙上で実現。ショボさ満点、だって紙だもの! 色々言いたいことはあるかと存じますが、ここはグッとこらえて、作って・撮って・ツイートを!! ツイートして下さった方の中から、抽選で30名様にバシコバ厳選グッズ「ぶちラジの何か」をプレゼントいたしますー。

- 【ツイート締め切り】2023年9月3日(日)までのツイート。
- 【当選者の発表】当選者のみツイッターのDMにてお知らせいたします。
- 【お願い】以下のハッシュタグと共にツイートしてください。

#タイタンシネマライブ #ぶちラジペーパー

のりしろを台座の穴に押し込んで、のりやテープなどで止める



第八回 キュウ単独公演
「初期の告辞」

●東京 9月7日(木) / 9月20日(水)
●大阪 9月14日(木) ●名古屋 9月15日(金)
配信チケット販売中 詳細はタイタン公式サイトにてご確認ください。



タイトル「初期の告辞」とおり、ここにきて改めて、みたいな感じで始まります。各ネタはとにかくシンプルに。賞レースをあまり意識していないマインドで作っています。(びろ)

9月7日から始まり最終が9月20日。間隔はあるものの初演から終演まで約2週間あることが初めて。去年は2日間だったけどずっと張り詰めているようでしんどかった。今回は2週間。自分たちに変化があるのか、ないのか...楽しみ。(清水)

キュウのこと。

01.Q ネット作りはしんどくない シンプルを心掛ける

びろ 昨年のM-1でようやく決勝に行けましたけど、その後の変化は劇的ではなかった。ネタ作りは、まったくしんどくない。よりシンプルさを心掛けている感じですね。

02. 浮足立つ 男女にイラッ

びろ 街中でイチヤイチャする大人男女を見ることが多い。なぜ人前でイチヤれるのかナゾですね(笑)。

03. テクノロジーの進化を体感

びろ 以前から興味があったVRを思い切って購入。テクノロジーの進化ぶりに驚いた。やはり最新のモノに触れることはいいものだと思ひ、PS5も購入。もともと二人で没頭できるゲーム好き。ネットを通して見知らぬ人たちとゲームをするのはイヤなんです。だって、コワイもの(笑)。ちなみに今は「ホクワーツリガシー」に入学中です。

04. 横スクロールのゲームが激ムズ

びろ ゲーム遊びを再開したので、昔のゲームも遊んでみた。横スクロールのゲームが難しすぎてムカついた(笑)。特に「魔界村」が激ムズすぎる。

05. M-1決勝はゴールではないことを再認識

清水 数年前まではM-1で決勝さえ行けばとありあえずひとつのゴールという気持ちがありました。でも近年は「いや、そんなことないな」と薄々思いついて。昨年初めて決勝進出できて、「決勝はゴールではない」と再認識している(笑)。

06. テレビに映る父親を観る娘の反応イマイチ

清水 メディア露出が増え、物心がついた娘にもその姿を見せられるようになったのですが、今は誰でも動画を撮れる時代...。僕がテレビに出ていても普段から父親の動画を見ている娘には「おはハッ(泣)」。

07. 青春を謳歌する 大人を見守る派

清水 びろは前面でイチヤつく大人に腹が立つようだけど(笑)、僕はイイと思う! 「遅れてやって来た青春なのかな」としつとり見守る派です(笑)。

08. 人生2周目に突入 花鳥風月を愛でる今

清水 ありがたいことにバイト生活から脱出できたことで家族と過ごす時間が増加。特に娘と散歩に出かけると、季節をより感じるようになりました。春になると娘が「花が咲いてきたね」と、目を輝かせて言っていたり。川で魚を見つけて喜んでいたり。そんな娘の姿を通して、知っていたハズの四季折々の自然がキラキラと輝いて見える。来年の2月で40歳。人生「2周目」に突入した感覚。今、日本特有の「花鳥風月」と、日々すすくと成長する娘を愛でています(笑)。

09. 意外と知らなかった

清水 誠

キュウの実験的サロン「研Q室」では、研Q員(有料会員)を交えながら、ネタ作りなどに取り組んでいます。研Q員は随時募集中!